

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6 年 2 月 20 日

事業所名 ぽぶり西宮教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	11	1		
	2 職員の配置数は適切である	12			
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	12			
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	12		・必要な清掃・洗濯の項目をチェックリスト化し、一週間のスケジュールを決め、職員皆で朝と夕に毎日清掃を行っています。	
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	12		・定期的に職員ミーティングを開き、その時の課題を職員全体で共有、相談しています。	
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	12		・去年度の評価表でいただいたご意見をもとに今年度改善いたしました。	
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	12		・HPで公開してから、そのURLを公式LINEでお知らせすることで、利用者の皆様に共有しています。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		12	・第三者委員会は設置していませんが、虐待防止・身体拘束適正化委員会では外部委員に参加していただいております。	
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	12		・2ヶ月に一度勉強会を行い各職員の療育スキルの向上に努めています。 ・職員全体への定期的な勉強会や研修の他に、セラピーにスーパーバイザーが同席し技術指導を継続的に行っております。	
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	12		・児童発達支援管理者と療育担当者が日々相談しあい、一人一人に合った療育の提供に努めています。	
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	12		・全セラピストがつみきBOOKをセラピーの指針として使用しております。	
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	11	1		
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	12			
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	12		・個々のお子様に対してのプログラムを、担当セラピストがスーパーバイザーにも定期的に確認し一緒に考えております。小集団のプログラムは参加セラピスト達が毎回後ミーティングを実施し立案しています。	
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	12			
16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	12				

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	12		・療育開始前の全体ミーティングでその日の予定や連絡事項を共有しています。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	11	1	・勤務終了後に毎日ミーティングを行っています。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	12		・毎利用時、どんな内容で療育を行ったのか、お子様の様子も含めて必ず記録しています。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	12			
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	12			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	7	5	・保護者様から依頼があった場合は必要な関係機関と連携をとっております。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	10	2	・就園する際、保護者様のご要望に応じて支援内容等をまとめ共有します。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	9	3	・就学に伴う利用終了時には、今までの支援内容や今後必要であると思われる支援を文書にまとめて、各進学先にお渡ししています。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	10	2	・年に数回研修に参加しています。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	3	9		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	4	8	・会議に参加する機会はありませんでしたが、アンケートなどの回答などで関わっております。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	12		・ご利用時にご家庭での様子を伺い、セラピー終了後には必ず保護者様にその日の療育内容をお伝えしたり、質問やご相談内容にお応えする時間を設けております。	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	8	4	・ご利用時に、日常生活でのお困りごとやセラピーについての質問等に対してアドバイスさせていただく形で支援しております。同席される保護者様には、セラピーの仕方やお子様への対応を実践的に一緒に取り組むこともあります。	・事業者内での講習会は実施しておりませんが、法人で主催している保護者向けの講習会・研修をご案内しています。	
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	12			
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	12			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	12		<ul style="list-style-type: none"> <li>ご利用時にご家庭での様子を伺い、お困りごとなどあれば対応を助言させていただいております。</li> <li>毎回終了時にはその日の療育内容をお伝えし、質問やご相談にお応えする時間を設けております。</li> <li>また、同席される保護者様には、必要に応じて、代わって一緒に取り組んでもらうことで、事業所であることがご家庭でもできるよう支援しております。</li> </ul>	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	3	9		<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度からの課題でしたが今年度も保護者会を開催することができませんでした。保護者の方々が交流できるように、お子様と保護者の皆様が参加できるイベントなどの企画を検討いたします。</li> </ul>
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	12			
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>必要な連絡事項は随時公式LINEから保護者様へお伝えしています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>SNSでの発信は今年度ほとんどなかったため、日々の療育や事業所の活動の様子がみえるよう発信していきたいと思っております。</li> </ul>
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	12			
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	12			
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>行事等に招待する機会はありませんが、地域のゴミ当番を担うなど地域の一員としてできることを行なっています。</li> </ul>	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	12			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	12			
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認している	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時にご記入いただきスタッフで共有しております。</li> </ul>	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	10	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>契約時に食物アレルギーの有無を確認しています。</li> <li>当事業所で食事の機会はありませんが、療育に食べ物が必要な場合は保護者様にご用意させていただいております。</li> </ul>	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	12			
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	12			
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	11	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>これまで身体拘束を行った事例がありません。</li> <li>身体拘束についての方針をまとめて研修を行っております。今後やむを得ず身体拘束を行う場合にとる手続きについては職員に周知しております。</li> </ul>	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。